

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587068901	科目番号 / Course code	05870689
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a1思想からみた九州 / Kyushu's Perspective from History of Idea		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	motonaomori ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水俣、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書/Materials	森元斎『国道3号線 抵抗の民衆史』共和国、2020		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。 指定した教科書から課題を出しますので、手元にあることが望ましいです。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス：九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文（1）
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文（2）
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュニケーション ルソーの思想とコミュニケーション
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593004901	科目番号 / Course code	05930049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a1「文化」の境界と「伝統の創造」 / Boundaries of "Culture" and the "Invention of		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大, 森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anegawa▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	事前にメール連絡すること		
担当教員TEL/Tel	anegawa▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「文化の多様性」を考える際、私たちは、境界線で区切られた「文化」が複数存在し、それぞれに固有の「伝統」がある、と思ってしまいがちです。よく多様性を特徴とする地域だと言われる東ヨーロッパ(特にハンガリー)の事例から、このこと自体を問いなおし、それを通じて「日本」についても考え直すヒントにします。		
授業到達目標/Course goals	受講する学生は、「〇〇語・〇〇文化・〇〇人・〇〇国」という組み合わせが、いつ、どのように当たり前のように考えられるようになったかを説明できるようになること、また、そのことを踏まえると「日本」などの枠組みについてどのように考え直さなくてはならなくなるかを説明できるようになることを、目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末論述試験(80点) + 毎回の質問・コメント提出(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習 予めレジュメを配布し、参考資料・配布資料の中で読んでくべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。参考書は、塩川伸明『民族とネイション』(岩波新書)、横井雅子『ハンガリー音楽の魅力』(東洋書店)『伝統芸能復興』(アーツアンドクラフツ)、伊東信宏『バルトーク』(中公新書)のほか、関連論文等を授業内で配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	ブラネタリーヘルスおよび感染症対策変更対応の観点から、この授業の参加にあたっては、不織布マスクあるいは医療用（N95）マスクの着用を必須とする。マスク非着用またはウレタンマスク着用の者の入室・受講を禁止する。 この授業は対面形式で行う。いわゆる「5類移行」が実施されてしまった場合、オンラインへの移行が必要なはずだが、教員側の準備状況によって、対面形式を続行してしまう可能性があるので、予め留意されたい。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の導入及び主な検討対象地域（東欧）の紹介
第2回	授業の導入及び主な検討対象地域（東欧）の紹介
第3回	〔歴史編〕中世東欧の民族・国民
第4回	〔歴史編〕近世東欧の民族・国民
第5回	〔歴史編〕近代的諸国民の誕生と文化
第6回	〔歴史編〕共生できない多文化？
第7回	〔歴史編〕多文化共生の実験
第8回	〔歴史編〕国民化する国家の営み
第9回	〔文化編〕「伝統的な風景」の創造
第10回	〔文化編〕「伝統的な料理」の創造
第11回	〔文化編〕「伝統音楽」の創造 ハンガリー風音楽
第12回	〔文化編〕「伝統音楽」の創造 ジプシー音楽
第13回	〔文化編〕「伝統音楽」の創造 西洋音楽
第14回	〔文化編〕「伝統音楽」の創造 ハンガリー音楽
第15回	まとめ、伝統の創造について
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593006101	科目番号 / Course code	05930061
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a2東南アジアから学ぶ多文化共生 / Diversity, Unity, and Creativity in Southeast Asia		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	hosoda▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人々と共存する方法を試みてきた東南アジアの国々を紹介する。東南アジア島しょ部の国々(マレーシア、インドネシア、フィリピン、シンガポール)を中心とした具体的な事例を通じて、多文化共生にはいくつもの方法があることを学び、将来に向けて私たちはどのような多文化共生の方法を選びとるべきかについて議論する。授業では、グループワークやゲストスピーカーとのQ&Aなどのアクティブラーニングを部分的に用いる。		
授業到達目標/Course goals	(1) グローバリゼーション時代の東南アジアに関する知識を習得する。 (2) 多文化が共存する社会の政策や現実について具体的に述べることができる。 (3) 東南アジアの魅力について自分で調べ、発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントカードの内容)60点、授業中に行う小テストやグループワークの結果20点、最終試験(あるいは最終レポート)20点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。小テストや最終試験等の準備。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	多様性、グローバル化、若者、アイデンティティ、日本とのつながり		
教科書・教材・参考書/Materials	『はじめての東南アジア政治』(有斐閣、2018)ほか。 予習として読むべき文章や視聴すべき動画は授業の前にLACSで適宜、指示をします。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	東南アジアの人たちは多文化状況をいかに生きるかを模索し経験を積み重ねてきました。そこで長年培われてきた知恵を学びましょう。授業ではグループワークなどのアクティブラーニングを頻繁に行うため、全回、積極的に参加できることがこの授業の受講条件です。また、第1週目から小テストを行いますので、予習をしてきてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	授業の概要、東南アジアを学ぶ意義
第3-4回	混成社会の日常風景とその背景
第5-6回	多民族・多宗教国家で行われている共存のための方法
第7-8回	経済成長と若者：インドネシアから世界へ
第9-10回	「混血」と国民意識、海外移住
第11-12回	東南アジアと日本の関係
第13-14回	グループによるプレゼンテーション
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593005901	科目番号 / Course code	05930059
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a2欧州に学ぶ多文化と教育 / Education in Multicultural Society ; Case Study of Europe		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福田 紗耶香, 細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	福田 紗耶香		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	福田 紗耶香		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuda.sayaka▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Eメールでアポイントを取ってください。		
担当教員TEL/Tel	fukuda.sayaka▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	20世紀後半以降社会の急激な多様化に向き合ってきたヨーロッパ諸国と、多様化の課題が浮かび上がりつつある日本を比較しながら、多文化社会における教育課題と現状について紹介します。事例やデータから多文化社会において教育の不平等がどのように表出しているか学ぶことで、教育の「あたり前」を問い直し、多様な人々が共に生きていくために必要な視座を身につけましょう。		
授業到達目標/Course goals	(1) 教育社会学に関する基礎的知識を習得する。 (2) 欧州諸国における教育課題と対応策について具体的に述べることができる。 (3) 多文化社会の教育課題について調べ、前提を問い直し、自らの考えを発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み) 60点、授業中に行う小テストやグループ発表の成果20点、最終試験(あるいは最終レポート) 20点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。小テストや最終試験等の準備。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	多文化社会、欧州、移民、教育格差、地域研究		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。毎回、予習のための教材を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	（１）グループワーク活動に積極的に参加できることが受講の条件です。よって毎回の出席が必須です。 （２）授業中に演習を多く行いますので常日頃から異文化に接したり関心を持っていることも重要です。 （３）まわりの人たちの学習のさまたげにならないよう、私語や携帯電話、スマートフォンなどの使用はひかえてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション、学校とは何か
第3-4回	データから見える世界の教育
第5-6回	日本の教育における国際化の現状と課題
第7-8回	フランスにおける学力保障の現状と課題
第9-10回	ドイツにおける学力保障の現状と課題
第11-12回	イングランドにおける学力保障の現状と課題
第13-14回	教育の地域研究（１）
第15回	教育の地域研究（２）、まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	● a3芸術 / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) kankan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) k-akiko▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟2階(中川・菅野) 教育学部音楽棟3階(加納)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351(中川) 095-819-2352(菅野) 095-819-2346(加納)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。 音楽では美術との関連や、芸術表現と人間との関わりについて考える。		
授業到達目標/Course goals	美術及び音楽の魅力を説明できる。 自由な発想と多様な表現方法を獲得する。 自らを日常的な縛りから開放させることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物(作品やレポート等)60%、受講の姿勢(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 予告される授業の内容について自主的に書籍、新聞、インターネット、新聞を見て調べること(2h) 事後学習: 授業で行ったことをまとめておくことと、それに関連する本や資料等を各自で読んでおくこと(2h)		
キーワード/Keywords	美術・工芸・音楽		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	実技を含みます。対面授業が出来ない場合は、オンライン(リアルタイム・オンデマンド)で行います。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は一部オンラインで実施します。詳細は授業時やLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	工芸 今まで習ってきた美術・工芸について（対面）
第2回	工芸 身の周りの表現について（対面）
第3回	美術・工芸 どこに工夫があるか。探してみよう。（制作または鑑賞）（対面）
第4回	美術・工芸 どう表現しているか。トライしてみよう。（制作または鑑賞）（対面）
第5回	音楽と美術の関連（対面）
第6回	音楽と美術の関連（又は演奏表現）（対面）
第7回	音楽と映像（オンデマンド）
第8回	音楽と映像（又は演奏表現）（オンデマンド）
第9回	美術の魅力を探る（私が携わってきた仕事の経験）【金原先生】（オンデマンド）
第10回	美術の魅力を探る（アートボランティア活動と体験談）【金原先生】（オンデマンド）
第11回	美術館を探る（アートイベントやワークショップの企画とは）【宮崎先生】（リアルタイム）
第12回	美術館を探る（クリエイティブな発想力を学ぼう）【宮崎先生】（オンデマンド）
第13回	美術教育の意義と役割について（対面）
第14回	岩井俊二の映像作品を鑑賞する（対面）
第15回	まとめ（なぜ美術なのか、いかに美術なのか）（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587040901	科目番号 / Course code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Course title	● a3美術 / Fine Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino, 加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当: kmakino▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する場合は、▲を@に換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟 牧野研究室		
担当教員TEL/Tel	担当: kmakino▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する場合は、▲を@に換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業では、絵画造形を中心とする素描による実技を学びます。造形感覚を磨くとともに、鉛筆による素描表現技法を養います。		
授業到達目標/Course goals	・基本形態の性質を文章あるいは口頭で説明することができ、素描を通して表現することができる。 ・基本形態を応用した手の素描をアカデミックな手法で表現することができる ・ポートフォリオを作成することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価方法: 授業への取り組みと意欲(20点)、振り返りと自己課題内容(20点) + 作品制作(40点)、ポートフォリオ課題(20点)。点数を合算して、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 必要な場合は、授業中に適宜指定します。(2h) 事後学習: 授業終了時に、本時の振り返りを行います。これを中心に復習してください。(2h)		
キーワード / Keywords	絵画、素描		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じてプリントを配布します。 参考書については、授業内で紹介します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	基礎知識は必要ありませんが、芸術や文化に関心があること。 また、美術や実技が好きであること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面とオンラインで実施します。初回で授業計画を説明しますが、状況によっては、変更する場合があります。その際は、LACSで連絡します。まとめて使用しますので、作品を捨てないでください。	
学生へのメッセージ/Message for students	出席とやる気が、授業内容の理解や作品の善し悪しに関わってきます。休まずに出席しましょう。また、この機会に、美術館や博物館に出かけて作品を見たり、美術に関わる書籍を読むなど、美術に親しむ時間をぜひ作ってください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション (絵画における素描のために) (オンライン)	A C D
第2回	基本形態と明度・彩度とパースペクティブなどの造形のルールについて (オンライン)	A C D
第3回	素描 (直方体・立方体) について (オンライン)	A C D
第4回	素描 (球・円柱) について (オンライン)	A C D
第5回	素描 (多面体) について (オンライン)	A C D
第6回	素描 (複数の基本形態の組み合わせ) について (オンライン)	A C D
第7回	構図と素描の関係について (対面)	A C D
第8回	素描 (想定された状況における造形) について (対面)	A C D
第9回	素描 (支持体の明度が反転した状況における) の概念について (対面)	A C D
第10回	素描 (支持体の明度が反転した状況における) の実際について (対面)	A C D
第11回	ポーズとその効果、背景と輪郭の関係性について (対面)	A C D
第12回	素描 (アタリと構図を中心に) (対面)	A C D
第13回	素描 (主題暗部と単位を考慮した運筆を中心に) (対面)	A C D
第14回	素描 (主題明部と空間を側面の差異で表現することを中心に) (対面)	A C D
第15回	素描 (質感表現と空間の調整を中心に) 並びに、作品のポートフォリオの作成 (対面)	A D

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	● a4身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuyama-takao▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部414号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 6校時目, 研究室(教育学部414号室)にて		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちは、日常生活において当たりまえのように科学の産物を享受しているにもかかわらず、それらを科学的に考える機会は少ない。ミクロからマクロまで広がる科学的な視野をもって、私たちの日常生活と自然科学との関わりを見つめなおして理解することを、本授業のねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	以下を本授業の到達目標とします。 知識・思考： ・日常生活と先端科学は、かい離したものではなく密着したものだという認識ができる。 ・長崎という「地域」の科学について体験を通して学び、他者に説明できるようになる。 技能・表現： ・日常生活と先端科学の関係について、他者に自分の言葉で分かりやすく説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の発表(授業への取り組み)により、評価(100%)します。 全体の3分の1以上を欠席した場合は自動的に失格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	興味を持ったテーマについては、図書館等を活用して自分で深く調べてみてください。予習の目安時間として2時間(事前に次のテーマについて調べる等)、復習の目安時間として2時間(配布した資料をもとに取り扱ったテーマについて深める等)の時間外学習によって、授業内容の定着を図ること。		
キーワード/Keywords	先端科学, 宇宙, 生命, 長崎という「地域」における科学, 探究学習		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料は配布します。参考図書は、授業中に適宜紹介します。例えば、雑誌「Newton」、ブルーバックス各種		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	科学について勉強したい、という意志を持っていること。「能動的」に、授業に参加できること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は、基本的に全て対面で実施します。地域における科学施設の見学は、長崎市科学館を基本としますが、希望があれば、長崎市恐竜博物館と長崎歴史文化博物館も可能とします。入館料等は各自ご負担ください。
学生へのメッセージ/Message for students	科学の教養を身につけておきたい、自分たちで科学について調べたい、という意志のある学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	ガイダンス， 生活における身近な科学（グループワークと発表）【対面で実施】
第3～4回	ノーベル賞を題材として考える科学（グループワークと発表）【対面で実施】
第5～6回	宇宙のロマン（グループワークと発表）【対面で実施】
第7～8回	長崎という「地域」における科学（長崎市科学館などの見学を通じた学習） 【入館料などは、各自負担してください】
第9～10回	長崎という「地域」における科学（長崎市科学館などの見学を通じた学習） 【入館料などは、各自負担してください】
第11～12回	長崎という「地域」における科学（学習内容の発表と共有）【対面で実施】
第13～14回	生命の神秘（グループワークと発表）【対面で実施】
第15～16回	科学とおかしな科学（グループワークと発表）， 授業のまとめ【対面で実施】

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	● a4環境と社会 / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino▲nagasaki-u.ac.jp(星野)(メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階 415研究室(星野)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332(星野)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日以外の昼休み12:10~12:40(星野)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えているかを調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのような影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会との関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるすることができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価: 授業中の内容理解小テスト(4点×3回)、課題レポート(4点×3回)、小テスト作成課題(3点×5回)、プレゼンテーション課題と発表(15点)、他班のプレゼン評価(10点)、授業への貢献度(質問、意見など、6点)、定期考査(30点)を行って評価(合計100点)する。合格基準は、到達目標に達した場合に60点になるようにし、これを合格基準とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。また、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。 【予習】テーマについて学習事項とその内容を調べておくこと。担当班はパワーポイントのスライド作成を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマについての学習事項に関する小テスト問題の作成を通じて復習しておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords	環境基本法、環境基準、ドイツの環境事情、ネパールの環境事情、長崎県の環境課題		

教科書・教材・参考書/Materials	参考書 1：谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書 2：及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 くらしの安全科学」共立出版 参考資料：新聞各紙（データベース）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は、ほぼすべての授業回（１４回）で対面とリアルタイムオンラインのハイフレックス形式で行います。テーマと班決めの回だけは、対面のみで行いますので、必ず出席してください。各授業日に感染症罹患などにより出席できない場合は、必ず事前（授業日の午前11時まで）にメール連絡してください。	
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で内容理解確認テスト１（日本の公害・長崎の公害）を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリント１を課す。	A
第2回	環境法規（長崎県の環境基本計画を含む）とドイツの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で内容理解確認テスト２を課す。ネパール国についての課題プリント２を課す。	A
第3回	ドイツ及びネパールの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる内容理解確認テスト３を課す。また、講義で取り上げたネパールの環境事情の内容と改善方法の提案の課題プリント３を課す。	A
第4回	本授業で取り上げる10個の環境問題に関するテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンテーションの発表日を決める。	B
第5回	テーマ１,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。1班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ１について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ１に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる	B
第6回	テーマ２,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。2班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ２について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ２に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる	B
第7回	テーマ３,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。3班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ３について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ３に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第8回	テーマ４,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。4班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ４について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ４に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第9回	テーマ５,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。5班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ５について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ５に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第10回	テーマ６,たとえば「感染症と社会」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。6班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ6について,小テスト問題（A4で１枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ６に関して長崎県の場合も合わせて取り上げ	B

第11回	テーマ7,たとえば「放射線と原子力発電」について7班全員が一人ずつプレゼンを行う。7班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ7について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ7に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A
第12回	テーマ8,たとえば「気候変動,地球温暖化」について8班全員が一人ずつプレゼンを行う。8班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ8について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ8に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第13回	テーマ9,たとえば「マイクロプラスチック」について9班全員が一人ずつプレゼンを行う。9班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ9について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ9に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第14回	テーマ10,たとえば「化学物質汚染」について10班全員が一人ずつプレゼンを行う。10班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ10について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ10に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第15回	テーマ1～テーマ10までのテーマについて,各班で補足のプレゼンテーションを行い,質問,意見を受ける。	A B D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593000301	科目番号 / Course code	05930003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a5企業活動と戦略 / Corporate Activity and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾, 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバルな環境変化の中、企業は目的達成のために日々重要な意思決定を行っている。その意思決定の指針となる要素が戦略であり、戦略論を踏まえた深い洞察なしでは、企業の成長・発展は不可能である。本講義では、戦略論を幅広い観点から捉え、理論と実証の両視点から企業の行動を多面的に理解することを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。経営戦略論は次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 各コースの到達目標を達成している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間レポート(15点)+授業への取り組み(15点)+期末テストまたはレポート(70点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 各講義開始前に配布する資料に目を通しておいください。(2h) 復習: 講義資料を再読し、理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	経営戦略、競争、多角化、ネットワーク		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: [ISBN]9784492522035 『競争戦略論』(青島 矢一, 加藤 俊彦, 東洋経済新報社: 2012)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	原則として対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「なぜ」「どのように」という「理屈」を突き詰めることは、経営学に限らずすべての学問分野に共通する大切な考え方です。その一方で、経営学の理屈では説明できない出来事も世の中にはたくさんあります。「理屈」と「世の中」のどちらか一方に留まることなく、2つの世界を自由に行き来できるような柔軟な視点を身につけてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 イン트로ダクション 講義第1回は本講義の全体的な内容ならびに進め方、成績評価方法などの概要を説明します。
第2回	第2回 経営戦略の基礎 なぜ、ある企業が利益を上げ、別の企業は利益が上がらないのか。その違いを説明する要素として「戦略」があげられます。講義第2回は経営戦略を学習する前提として、戦略の分類軸、戦略の階層性(事業戦略—全社戦略)など戦略論において基礎的な概念を学修します。
第3回	第3回 事業戦略 ポジショニング・アプローチ 企業が属する業界、産業によって、企業の「儲かる」と「儲からない」は大きく違ってきます。講義第3回は企業と外部環境、さらに産業の収益性に影響を及ぼす要因にはどのようなものがあるのかを説明します。
第4回	第4回 事業戦略 資源アプローチ 世の中には「他社には真似のできない強み」を駆使して利益をあげている企業が多くあります。講義第4回は、競争優位をもたらす経営資源はどのようなものかについて学修します。
第5回	第5回 事業戦略 ゲーム・アプローチ 原材料の段階から組み立て、小売にいたる製品プロセスには多くの企業が関わり、それぞれが「価値」を付け加えています。講義第5回は、企業活動における価値の創造と配分の相互作用をゲームとして捉え、ゲーム構造とその変化を通じて企業活動がどのように分析できるのかについて学修します。
第6回	第6回 事業戦略 学習アプローチ 人間と同じように、企業も知識や能力を身につけ、自社の強みとして活用しています。講義第6回は、学習を通じて、企業が活動していく上で必要な知識・能力を蓄積してゆくのかについて学修します。
第7回	第7回 事業戦略 経験曲線効果と一般戦略 同じ業界、産業に属する企業であっても、自社の何を強みとするかによって、取りうる戦略は大きく違ってきます。講義第7回は、市場シェアを中心に戦略を考えた場合、企業が取りうる戦略にはどのようなものがあるのか説明します。
第8回	第8回 全社戦略 全社戦略とシナジー 事業戦略とは別に全社戦略を考えなければいけないのは、事業間にシナジーという現象が作用するからです。講義第8回は、企業が抱える複数の事業間で経営資源や活動を共有することで、どのような効果が生まれるのかについて学修します。
第9回	第9回 全社戦略 多角化 企業は時として、それまでとは異なる新たな事業分野に進出し、さらなる成長を模索することがあります。講義第9回は、企業がなぜ既存事業の枠を超えて拡大を目指すのか、またその手法にはどのようなものがあるのかを学修します。
第10回	第10回 全社戦略 垂直統合 企業活動における各プロセスは、企業内部、企業外部のいずれかにおいて実行され、各プロセスの調整手段として、外注と内製があります。講義第10回は、このような企業の取引関係の構造を、市場と組織の観点から説明します。
第11回	第11回 戦略とビジネスモデル ポジショニングや経営資源などの経営戦略の枠組みを応用し、さらに「だれに」「なにを」「どのように」提供するのかを包括的な仕組みとして「ビジネスモデル」という考え方があります。講義第11回は、代表的なビジネスモデルを取り上げ、それがどのような仕組みで利益を生み出しているのかを学修します。
第12回	第12回 ベンチャー企業の経営戦略 経営資源が限られているベンチャー企業は、大企業と比較して経営戦略の面で不利な点を抱えている一方、独自の強みを有している企業も多くあります。講義第12回は、ベンチャー企業の経営戦略における独自性、大企業との関わりなどについて学修します。

第13回	第13回 企業提携と戦略 企業は様々な理由で、他の企業と手を組んで事業を行っています。講義第13回は、企業が提携関係を構築する理由、そして提携がもたらす効果、さらには提携相手を選択する上での注意点などを説明します。
第14回	第14回 企業ネットワークと戦略 第13回の「提携」をさらにマクロな視点から分析する枠組みとして近年、企業が構築するネットワークに光を当てる試みが注目されています。講義第14回は、社会のつながりの中で生まれる強みや行動を、ネットワーク上の位置や構造で考える「ネットワーク理論」を紹介し、その戦略的応用について考えます。
第15回	第15回 これまでの講義まとめ 企業の戦略とそのアプローチ手法、さらには提携戦略やネットワークなど、ミクロからマクロまで経営戦略を幅広く扱ってきたこれまでの講義内容の要点をまとめます。
第16回	期末テストを実施します。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593000101	科目番号 / Course code	05930001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a5統計解析の初歩 / Introductory statistics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵キャンパス)・東南アジア研究所214		
担当教員TEL/Tel	shikimi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初等的な統計的手法を説明する。		
授業到達目標/Course goals	社会・経済データを読み解く力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験80%、授業への主体的参加(質問や議論)20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 前回までの講義内容を振り返ることにより現在位置を確認し、次回の講義内容がスムーズに 理解できるように準備しておく(2h)。 復習: 講義内容を整理し理解を深める(2h)。		
キーワード/Keywords	統計分析		
教科書・教材・参考書/Materials	指定なし。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	講義は対面で実施します。		
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用） / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション （第1回から第16回まですべて対面）
第2回	記述統計 中心を測る—平均値とメディアン
第3回	バラツキを測る—標準偏差とChebyshevの不等式
第4回	度数分布とヒストグラム
第5回	まっすぐな関係の程度を測る—散布図、相関係数
第6回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線（１）
第7回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線（２）
第8回	ローレンツ曲線とジニ係数
第9回	問題演習
第10回	確率論 二項分布（１）
第11回	二項分布（２）
第12回	ポアソン分布
第13回	正規分布（１）
第14回	正規分布（２）
第15回	問題演習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593000501	科目番号 / Course code	05930005
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a6経済学 / Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階501		
担当教員TEL/Tel	shimada▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	市場経済においても、政府は重要な役割をもっている。市場経済の機能と限界を概観し、市場経済において政府や中央銀行がどのような役割を果せるかをマクロ経済学的な視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	市場の価格調整メカニズム、市場経済の機能と限界、市場経済における政府や中央銀行の役割を主体的に説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	まとめ(試験またはレポートを含む) 100%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：受講者はLACSを通じて配布する授業資料を授業前になるべくプリンターで紙に印字し、それに手で書き込みを加えながら読んで、授業に臨んでください。(2h) 事後学習：受講者は授業でとったノートを教科書やプリントを読みながら整理してください。また関連する統計も見てください。(2h)		
キーワード/Keywords	市場の価格調整メカニズム、政府の役割、中央銀行の役割		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 中谷武・中谷保[編著]『1からの経済学』、発売元・中央経済社、2010年 参考書 井堀利宏[著]『入門マクロ経済学』第4版、新世社、2020年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	日本政府の統計 https://www.e-stat.go.jp/ 授業はオンライン形式（リアルタイム）で実施します。状況によっては変化します。その場合はラ ックスで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	・事前学習の欄に書いたことをもう一度書きます。大切なことですから。受講者はLACSを通じて配 布する授業資料を授業前になるべくプリンターで紙に印字し、それに手で書き込みを加えながら読 んで、授業に臨んでください。「授業で話を聞くだけでわかる」と言うくらいに簡単ではありません ン。 ・授業中はノートをとってください。スマホをいじりながら座っているだけは理解が深まりません 。勉強のために手を動かしましょう。 ・連絡することがあれば、上記の担当教員メールアドレス宛にメールを送ってください。メールの 件名に、令和5年度モジュール 「a6経済学」受講者の誰々（氏名）、何学部（学部名）、何番（学 生番号）で件名は何々（例えば質問）、などを書いてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教 育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使 用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、経済学とわたしたち（オンライン（リアルタイム））
第2回	需要と供給、価格メカニズム(1)（オンライン（リアルタイム））
第3回	需要と供給、価格メカニズム(2)（オンライン（リアルタイム））
第4回	市場の限界(1)（オンライン（リアルタイム））
第5回	市場の限界(2)（オンライン（リアルタイム））
第6回	市場の限界(3)（オンライン（リアルタイム））
第7回	マクロ経済分析の基礎(1)（オンライン（リアルタイム））
第8回	マクロ経済分析の基礎(2)（オンライン（リアルタイム））
第9回	マクロ経済分析の基礎(3)（オンライン（リアルタイム））
第10回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(1)（オンライン（リアルタイム））
第11回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(2)（オンライン（リアルタイム））
第12回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(3)（オンライン（リアルタイム））
第13回	政府の財政、政府の役割、財政政策(1)（オンライン（リアルタイム））
第14回	政府の財政、政府の役割、財政政策(2)（オンライン（リアルタイム））
第15回	政府の財政、政府の役割、財政政策(3)（オンライン（リアルタイム））
第16回	まとめ（試験またはレポートを含む）（オンライン（リアルタイム））

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593000701	科目番号 / Course code	05930007
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a6マーケティング論 / Marketing Theories		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa, 島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部 薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi_f▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階504		
担当教員TEL/Tel	takahashi_f▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後、もしくはE-mailにて適宜受け付け		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	マーケティングとは、顧客の潜在欲求を捉えながら製品の個別市場を創造していく企業活動です。本講義ではマーケティングの基本概念であるSTPとマーケティング・ミックスを中心に学びます。マーケティング・ミックスは、Product(製品), Price(価格), Place(流通・立地), Promotion(プロモーション)の4項目で構成されるマーケティングの基本活動です。本講義では、企業事例や演習、グループディスカッションを通じて、マーケティングに関する理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	・マーケティング・ミックスについて適切に理解し、応用する力を身につける(DP1,2) ・事例分析や演習を通して、各企業が抱えるマーケティング戦略の課題を把握することができる(DP4) ・グループディスカッションを通じ、深く考え、自分の意見を相手に明確に伝えることができる(DP3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート(60%)、講義への参画度(40%)。講義への参画度の評価は、各回に提出するコメントシートへの記入内容を評価点とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：毎回の講義内容を事前にLACSで確認し、自分なりの考えを持つように努めて下さい(2h)。 事後学習：講義で学んだことを自分なりにまとめ、自分が普段使っている製品の広告や販路、価格などについてよく観察してください(2h)。		
キーワード/Keywords	STP, マーケティング・ミックス, 顧客満足		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。 参考書： グローバルタスクフォース（2005）『コトラー教授 マーケティング・マネジメント入門 ・ 』 総合法令出版。 石井 淳蔵, 廣田 章光（2009）『1からのマーケティング第3版』碩学舎
受講要件（履修条件）/Prerequisites	論理的に考えることを意識し、積極的な姿勢で受講してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	実施方法：対面授業 参考となる書籍は適時アナウンスする。
学生へのメッセージ/Message for students	企業のマーケティング活動は消費者の行動と密接に関係しています。自身も消費者の一人であることを念頭に、講義で学んだ内容を日々の中で活用してください。また、グループ討論を通じて他者の視点に触れ、視野を広げてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高橋史早/海外の政府関係者に対する研修経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 実施方法：対面授業
第2回	マーケティングの基本戦略 ・マーケティング的思考 実施方法：対面授業
第3回	マーケティング基本戦略 ・マーケティングプロセス 実施方法：対面授業
第4回	STP ・セグメンテーション 実施方法：対面授業
第5回	STP ・ターゲティング 実施方法：対面授業
第6回	STP ・ポジショニング 実施方法：対面授業
第7回	製品ライフサイクル 実施方法：対面授業
第8回	マーケティングミックス 実施方法：対面授業
第9回	マーケティングミックス ・製品 実施方法：対面授業
第10回	マーケティングミックス ・価格 実施方法：対面授業
第11回	マーケティングミックス ・プロモーション 実施方法：対面授業
第12回	マーケティングミックス ・プロモーション 実施方法：対面授業

第13回	マーケティングミックス ・チャネル 実施方法：対面授業
第14回	マーケティング戦略事例 実施方法：対面授業
第15回	授業の総括 実施方法：対面授業

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593005101	科目番号 / Course code	05930051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	First year		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyoata▲nagasaki-u.ac.jp (▲→@)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟(言語教育研究センター)2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please make an appointment through email.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Is the world today in a bipolar or a multipolar order? This question remains debatable. One thing for sure, we are witnessing a transitional period that deepens uncertainty. While rivalry between Washington and Beijing is shaping a new world order, Moscow is still challenging for the superpower status. It is also said the 21st century is the "Asian Century" or the "Pacific Century," but Europe is still a battle field of power politics. In the age of uncertainty, Japan also faces various unprecedented challenges as well as traditional difficulties. It is located in the Northeast Asia with three nuclear-weapon states, including Russia, China and North Korea, where history also continues to plague the relations among nations. While the importance of the Japan Self Defense Forces (JSDF) and the Japan-US alliance have risen due to a series of incidents that destabilize the region, successive administrations have dithered over the amendment of the Japanese constitution. Such government indecision often spoils Japanese national interests. On the other hand, however, we must admit that some of the problems do not have easy solutions or answers. Failed decisions could cause damage the relationships with other countries and arouse massive public oppositions. The governments face with dilemma when they make such important decisions from time to time. At the same time, we also must raise our voice before the governments reach their decisions. In the first place, what kind of voice should we raise? Do we have our own opinions and enough knowledge to judge the government decisions? Are our positions always right and not biased? Are there any other options? In this context, this series of lecture takes up several controversial issues that relate to Japan's foreign and national security policy and discuss how we should deal with them. It covers a wide range of topics including traditional security such as territorial disputes, arms race and sea lane defense as well as non-traditional security such as pandemic, energy security and environment issues. In addition, this course will be full of opportunities to listen, speak, read, and write English, since the majority of the classmates could be non-native English speakers. Not only instructor (non-native English speaker)'s lectures, students will listen to the guest speakers' English as well as international news, Youtube and so on. Moreover, all students must participate the discussions and express their opinions in English during the lectures. After the discussions, one student of each group will be representing the group to share their views. For preparation of the class, students are required to read news and write emails to the instructor about their findings and opinions in English		

授業到達目標/Course goals	The goals for students in this course are; (1) gain a deeper understanding of Japan's foreign and national security policy and the complex disputes in the region, (2) develop critical thinking, (3) gain confidence in expressing one's opinions logically, and (4) write a position paper and make a presentation in English.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation (15 points), Preparation for the class (21 points), Position paper (40 points), and Presentation (24 points)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Course preparation: 2 hours Writing a position paper: 2 hours
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤史郎、川名晋史、上野友也、齊藤孝祐編、『日本外交の論点』（法律文化社、2018年）。 防衛大学校安全保障学研究会、『安全保障学入門』（できれば新訂第5版が望ましい）（垂紀書房、2018年）。 (I'll summarize the points of the books in English for those who do not read Japanese.) Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of Japan, Diplomatic Bluebook (latest version), https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/index.html . （日本語版あり） Ministry of Japan (MOD), Defense of Japan (latest version), https://www.mod.go.jp/en/publ/w_paper/index.html . （日本語版あり）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	The extended syllabus and references are available at https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp . password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	- This course will be conducted face-to-face. - Students with different backgrounds and varying English level are expected to take this course and discuss on controversial issues together. Please treat your colleagues and different opinions with respect. - For non-native English speakers; this course will provide you a lots of opportunities to practice English. Listen to and read international news, speak up and write in English as many as possible. - For native English speakers; if you think this course is too easy for you, I'll give you Japanese assignments.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	Dr. Kiyota is an Associate Professor at the Office for Global Relations, Nagasaki University. Earlier, she was a First Secretary at the Embassy of Japan in Thailand from April 2019 to April 2021, and an Official at Regional Policy Division, Asian and Oceanian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs from April 2017 to March 2019. She was also an Advisor/Researcher at the Embassy of Japan in India from February 2015 to February 2017. This series of lectures will take up very important issues that impact Japan's foreign and national security policy, based on her experiences in the field of diplomacy.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction, course overview, structure and contents of classes, references and resources, how to discuss about topics, etc. (Face-to-face class)
2	Diplomacy, national security environment surrounding Japan, decision-making process in Japan, roles of Prime Minister 's Office (PMO), National Security Council (NSC), MOFA and MOD, National Security Strategy, Japanese strategic thoughts, etc. (Face-to-face class)
3	Article 9 of the Japanese Constitution, Japan Self Defense Force (JSDF), , right of collective self-defense, defense budget, etc. (Face-to-face class)
4	Japan-US Alliance, US Military Bases in Japan, etc. (Face-to-face class)
5	Japanese territory, Senkaku Islands, Takeshima, Northern Territories, territorial disputes, United Nation Convention on the Law of the Sea, etc. (Face-to-face class)
6	Taiwan, Sea Lanes of Communications (SLOC), South China Sea, etc. (Face-to-face class)
7	North Korea, missile and nuclear development, missile defense, United Nations Security Council (NUSC), etc. (Face-to-face class)
8	History, UNESCO World Heritage, Yasukuni, etc. (Face-to-face class)
9	Free and Open Indo-Pacific (FOIP), Quadrilateral Security Dialogue (QUAD), etc. (Face-to-face class)
10	Intervention in the domestic affairs, ASEAN, Myanmar, coup d'état, etc. (Face-to-face class)
11	Refugee, immigration, Intervention in the domestic affairs, etc. (Face-to-face class)
12	COVID-19 pandemic, vaccine diplomacy, COVAX, WHO, travel restriction, etc. (Face-to-face class)
13	Economic security, economic sanction, etc. (Face-to-face class)
14	Energy Security, nuclear energy, carbon neutrality, reducing greenhouse gas emissions, the Paris Agreement, etc. (Face-to-face class)
15	Wrap-up session or more
16	Presentation

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593005101	科目番号 / Course code	05930051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部、教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義内容の質問や英語の勉強法、課題等についての相談は歓迎します。メールで事前にアポをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日の世界は二極か多極かという質問には未だ答えは出ていませんが、我々が今、不確実性を伴う過渡期にいることは確かでしょう。米中の対立が新たな世界秩序を形成する中、ロシアは依然として超大国の地位に挑戦し続けています。21世紀は「アジアの世紀」や「太平洋の世紀」と言われますが、欧州は今もパワーポリティックスの戦場となっています。 このような不確実な時代に、日本は数多くの伝統的な困難と前例のない挑戦に直面しています。日本が位置する北東アジアは、ロシア、中国、北朝鮮という3つの核兵器国がひしめき合い、歴史問題が常に各国の関係を損ね続けています。地域を不安定化する事案によって自衛隊と日米同盟の重要性がますます高まる中、日本の歴代政権は依然として憲法改正に関する議論を引き延ばし続けています。そのような政府による優柔不断はしばしば日本の国益を損ねていると言えるでしょう。しかし一方で、簡単に解決策や答えが見つからない問題が多いこともまた確かです。間違った決定が隣国との関係を悪化させたり、国内世論の反発を招いたりすることもありえます。政府は重要な決定を下す際、時としてジレンマに直面するのです。 我々国民も、政府が恣意的な決定を下さないよう、しっかりと声を上げていくことが大切です。しかしそもそも我々はどのような声を上げるべきでしょうか？自分の意見は持っていますか？政府の決定を評価するだけの十分な知識はありますか？我々の意見は常に偏りのない正しいものと言えるでしょうか？他に選択肢はないでしょうか？ このような観点から、この講義では日本の外交・安全保障に関する論点を取り上げ、それらにどのように対応すべきか議論します。この講義では、領土問題、軍拡競争、シーレーン防衛といった伝統的安全保障のみならず、感染症、エネルギー安全保障、環境といった非伝統的安全保障問題も取り上げる予定です。 以上に加え、多くの非英語圏の学生が受講することを想定し、この講義では、英語で「聞く、話す、読む、書く」を実践する機会を多く設けます。講師（同じく非英語圏出身）の講義だけでなく、ゲスト講師やニュース、Youtube動画等でも英語を聞きます。さらに全ての学生がグループ・ディスカッションに参加し、自分の意見を英語で述べる訓練をします。ディスカッションの後には、各グループの代表1人に議論で出た意見を要約してもらいます。講義の準備として、日々ニュースを確認し、そのニュースの概要や自分の考えを講師に毎週英語で送っていただきます。それによりフォーマルな英語のメールの書き方を学びます。そして最後に、課題として英語による1000wordsのポジションペーパーを提出していただきます。 講師も学生一人一人をアシストしますので、一緒に頑張りましょう。 英語による講義内容の詳細（the Extended Syllabus）や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity		
授業到達目標/Course goals	1．日本の外交・安全保障問題に関する論点について学び、それぞれにどのような意見があるのか調べ、それを批判的に検討し、自分の意見を論理的に述べることができるようになる（ ）。 2．英語のポジションペーパーを書き、その内容を英語で発表できるようになる（ ）。		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組（15点）、メール課題（21点）、レポート課題（40点）、プレゼンテーション（24点）=合計100点のうち60点以上が合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・日本の外交・安全保障問題や講義で取り上げる内容について参考文献を読んだり、インターネットで調べ、自分の考えを英語で１分程度の内容にまとめ、講師にメールで送る（メール課題、講義準備）。（２時間） ・ポジションペーパーのテーマについて調べ、英語で1000wordsにまとめる。（２時間）
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考書は講義で紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・この講義は全て対面で実施します。 ・英語による講義内容の詳細（the Extended Syllabus）や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	・この講義には異なるバックグラウンドや異なる英語レベルの学生が参加することが想定されていますので、色んな国の人たちや異なる意見を尊重してください。 ・非英語圏の学生へ：この講義は英語の実践の場を提供します。しかし、週に一度の講義だけでは英語は絶対上手になりません。このセメスターの期間中は、できる限りたくさんの英語のニュースを読み、聞き、英語で話す、書く訓練をしてください。Practice makes perfect. ・英語圏の学生へ：もしこの講義が簡単すぎる場合には、日本語の課題に挑戦してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。本講義では、そうした外交の現場における実務経験に基づき、現在の日本の外交・安全保障を考える上で絶対に知っておくべきテーマを取り上げる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（自己紹介、講義の構成、情報の集め方、ディスカッションの方法、課題、評価等） 対面
第2回	外交とは何か、日本の安全保障環境、政策決定の仕組み（官邸、外務省、防衛省、NSCの役割）、日本の戦略思想等 対面
第3回	憲法第9条、自衛隊、集団的自衛権、防衛予算等 対面
第4回	日米同盟、米軍基地 対面
第5回	日本の領土、尖閣諸島、竹島、北方領土、領土紛争、国連海洋法条約（UNCLOS）等 対面
第6回	台湾、シーレーン、南シナ海等 対面
第7回	北朝鮮、ミサイル・核開発、ミサイル防衛、国連安全保障理事会（UNSC）等 対面

第8回	歴史、世界遺産、靖国等 対面
第9回	自由で開かれたインド太平洋（FOIP）、日米豪印戦略対話（QUAD） 対面
第10回	ASEAN、内政干渉、ミャンマー、軍事クーデター、制裁等 対面
第11回	難民、人権、移民等 対面
第12回	COVID-19感染症、ワクチン外交、COVAX、WHO、入国制限等 対面
第13回	経済安全保障、制裁等 対面
第14回	エネルギー安全保障、原子力、カーボンニュートラル、温室効果ガスの排出削減、パリ協定等 対面
第15回	総括 対面
第16回	プレゼンテーション 対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593005301	科目番号 / Course code	05930053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a7Toward a Nuclear Weapon-Free World / Toward a Nuclear Weapon-Free World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko, 清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Before class, students are expected to read related news articles and materials suggested by the lecturer. (2h) After class, students are expected to read over the returned reaction sheets and do further research on their own on the parts of the lecture that they did not fully		
キーワード/Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書/Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	This class will be conducted face-to-face.
学生へのメッセージ/Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course
第2回	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
第3回	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
第4回	Nuclear testing I
第5回	Nuclear testing II
第6回	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
第7回	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
第8回	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
第9回	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
第10回	Japanese Nuclear Policy
第11回	Nuclear Weapon-Free Zones
第12回	States that Chose a Non-Nuclear Policy
第13回	Role of Civil Society I
第14回	Role of Civil Society II
第15回	Conclusion

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593000901	科目番号 / Course code	05930009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a8社会保障と医療保障制度 / Social Security and Health Care Systems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) 有馬 和彦 <arima▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) 水上 諭 <s.mizukami▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00~13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	すべての国民は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を有するが、個人の努力(自助)のみでは対応できないリスクも多い。国民が相互に連帯して支え合い、また国が必要な扶助を行うことにより、国民の生存権を保障するのが社会保障の概念である。医療保障とは、国民が傷病の際に、必要な医療を効果的に受けられることを保障する制度である。		
授業到達目標/Course goals	社会保障、医療保障制度を理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要である。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み(15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h) 事後学習：学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h)		

キーワード/Keywords	所得保障、社会福祉、医療保障、公衆衛生
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/index.html)、ハンドアウト
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2回（4月14日）	社会保障の概念、社会保険、所得保障（年金・生活保護）、社会福祉（対面）
3 - 4回（4月21日）	グループワーク（対面）
5 - 6回（4月28日）	グループワーク（対面）
7 - 8回（5月12日）	プレゼンテーション、国民医療費（対面）
9 - 10回（5月19日）	医療保険、公費医療（対面）
11 - 12回（5月26日）	グループワーク（対面）
13 - 14回（6月2日）	グループワーク（対面）
15 - 16回（6月9日）	プレゼンテーション、試験（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593001101	科目番号 / Course code	05930011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● a8健康増進 / Health Promotion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してくだ さい) 有馬 和彦 <arima▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してくだ さい) 水上 諭 <s.mizukami▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してく ださい)		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00~13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	健康増進は、疾病の予防のみならず、健康状態を向上するための行動を含んだ積極的な概念です。 健康寿命の延伸とQOLの向上を目指します。健康づくりや疾病予防を進めるために、健康増進法が制 定されています。 健康日本21は、21世紀における国民健康づくり運動です。すべての国民がともに支え合い、健やか で心豊かに生活できる社会を目指します。 生活習慣病は食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進展に関与する 疾患群と定義されます。生活習慣は改善可能な因子として生活習慣病の予防に重要です。 特定健康診査・特定保健指導では、血糖・脂質・血圧などに関する健康診査の結果から、生活習慣 の改善が必要な者を抽出し、保健指導を実施することにより、生活習慣病を予防することを目的と しています。 がんはわが国の死因の1位であることから、重要課題として対策が進められています。 今後実際の健康問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションを 通して、自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。		
授業到達目標/Course goals	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策を 理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用 い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要であ る。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み (15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習： テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。 インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h） 事後学習： 学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。 インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h）
キーワード/Keywords	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/index.html)、ハンドアウト
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	（対面）
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-2回（6 / 16）	健康増進法、健康日本21、肝炎対策（対面）
3 - 4回（6 / 23）	グループワーク（対面）
5 - 6回（6 / 30）	グループワーク（対面）
7 - 8回（7 / 7）	プレゼンテーション、生活習慣病対策（対面）
9 - 10回（7 / 14）	特定健康診査・特定保健指導、がん対策（対面）
11 - 12回（7 / 21）	グループワーク（対面）
13 - 14回（7 / 28）	グループワーク（対面）
15 - 16回（8 / 4）	プレゼンテーション、試験（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593001301	科目番号 / Course code	05930013
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a9個体と社会生命を哲学する / Philosophy of Individual and Social Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 村瀬 壮彦, 井上 信一		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 村瀬 壮彦		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎研究棟6階法医学教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間はいつか死を迎えるが、その最期は様々である。現代社会においてヒトの死は、自然死や病死をはじめ、交通事故や他殺、薬物中毒、虐待、ストレス社会における過労死、あるいは隣家との接触の希薄化などによる都市部での孤独死、また自らの命を絶つ自殺など多様化している。本講義では、死、死に至る過程、様々な死について医学的側面から各講師が講義し、社会的側面から個人が貢献できることを考えるための素材を提供する。「社会からの逸脱」であるヒトの死について学ぶことで、「生命と社会」という普遍的な命題について哲学する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会的側面から解剖の意義について説明できる。 2. ヒトの様々な死、そしてその意義を説明できる。 3. 生命と社会における個人の役割について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	討論への貢献度、課題レポート: 40% 終了時提出のポートフォリオ、レポート: 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎週の課題に対する回答を作成し、発表できる様にすること(2時間程度)。 毎週の最終課題に対するレポート作成を行う(2時間程度)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学生のための法医学(南山堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全ての授業に出席できること。講義内容の復習、それに伴う情報収集、そして発表ができること。 グループ活動に積極的に参画できること。適切なモジュール科目に合格していること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	人は誰しも精神的に健康な状態の時は、前向きに社会と関係を持つことができますが、そうでない時は社会との関係が希薄になり、つながりを断ち切りたいと思うようになります。そこで、医学的（法医学的）観点からヒトの死について学ぶことで、「生命」についての自分なりの価値観を確立し、社会における個人としての役割等について考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第2回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第3回	自殺について考える。
第4回	自殺について考える。
第5回	アルコールについて考える。
第6回	アルコールについて考える。
第7回	薬毒物について考える。
第8回	薬毒物について考える。
第9回	虐待について考える。
第10回	虐待について考える。
第11回	安楽死について考える。
第12回	安楽死について考える。
第13回	臓器の移植について考える。
第14回	臓器の移植について考える。
第15回	総括。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593001501	科目番号 / Course code	05930015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a9環境による肺や腎臓への影響 / Environmental Effects on Lungs and Kidneys		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 高園 貴弘 / Takazono Takahiro, 牟田久美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	迎 寛 / Mukae Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 高園 貴弘 / Takazono Takahiro, 牟田久美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukae▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院呼吸器内科、腎臓内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7273		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 午前 9時~11時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々が生活するうえで環境による人体への影響は不可避です。特に肺や腎臓はそれらの影響を受けやすい臓器でもあります。長崎での取り組みを含め学修していきましょう。		
授業到達目標/Course goals	環境による肺や腎臓への影響を学び、これらについて、長崎での取り組みを含め説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第3~14までは2コマごとに(第4, 6, 8, 10, 12, 14)それぞれ評価(レポートまたはプレゼンテーション)5点満点x6(30点満点)、それ以外の、1, 2, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 16は出席時の授業参加度として3点/回を与える(遅刻、早退、欠席は0点)。第16回目の定期試験を40点満点で評価し、総合点が60点以上を合格とする。再試験は行わない。 合理的配慮の必要な案件があれば、その根拠をもって相談してください。必要な合理的配慮には合理的配慮を行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	第3回~第14回は講義スライドをLACSにアップロードするので、事前学習をお願いします。(約90分) 第1回は導入講義 第2回はプレテストなので準備は不要です。 第15回はそれまでのまとめ、第16回を定期試験とします。		
キーワード/Keywords	環境、呼吸器、腎臓、長崎の取り組み		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書、教材の指定はない。適宜資料をLACSにアップロードする		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面講義です。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y 実務経験あり	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	迎 寛、尾長谷靖、坂本憲穂、城戸貴志、竹本真之輔/上記5名については呼吸器内科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 牟田 久美子/腎臓内科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1. 2023/6/15	第1回 導入（対面）：環境と肺障害（長崎県の課題を通して学修）	F
2. 2023/6/15	第2回（対面） プレテスト	F
3. 2023/6/22	第3回（対面） 被爆県長崎で学ぶべきタバコの健康問題、COPDを中心に（長崎県の取組みを通して学修）	F
4. 2023/6/22	第4回（対面） タバコの問題に関するプレゼンテーション	A B D
5. 2023/6/29	第5回（対面） 職業と肺疾患（塵肺を念頭に）	F
6. 2023/6/29	第6回（対面） 生活環境と肺疾患（過敏性肺炎を念頭に） レポート提出	A
7. 2023/7/6	第7回（対面） 環境と感染症 講義（長崎県の取組みを通して学修）	F
8. 2023/7/6	第8回（対面） 環境と感染症 学生プレゼンテーション	A B D
9. 2023/7/13	第9回（対面） PM2.5と健康（長崎県の取組みを通して学修）	F
10. 2023/7/13	第10回（対面） PM2.5と健康 学生プレゼンテーション	A
11. 2023/7/20	第11回（対面） 生活習慣と腎臓病	F
12. 2023/7/20	第12回（対面） 腎不全の治療法（透析、移植） レポート提出	A B D
13. 2023/7/27	第13回（対面） 身近にある発がん性物質	F
14. 2023/7/27	第14回（対面） 肺がんの早期発見と治療 レポート提出	A D
15. 2023/8/3	第15回（対面） まとめ	A B
16. 2023/8/3	第16回（対面） 定期試験	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587056701	科目番号 / Course code	05870567
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15511_005		
授業科目名 / Course title	● a10高齢化社会と地域医療・薬とのかかわり / Aging Society and Its Association of Community - Based Medical Care and Medicine		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	向井 英史 / Mukai Hidefumi, 石原 淳 / Ishihara Jun, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	向井 英史 / Mukai Hidefumi, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukai▲nagasaki-u.ac.jp (向井)、toriba▲nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)、yumi.abiko.11▲nagasaki-u.ac.jp (安孫子) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	「医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学研究室」「薬学部研究棟5階 衛生化学研究室」		
担当教員TEL/Tel	095-819-8564 (向井)、095-819-2441 (鳥羽)、095-819-2442 (安孫子)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ 13:00 事前にE-mailで予約すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎県は高齢化社会の先進地区であり、高齢化が進む日本の将来の医療を考える上で重要なモデルである。出島に近代西洋科学が導入されたくすりの歴史から、現在における高齢化社会の典型的な疾病とくすりの使われ方まで、医療経済を交えながら学び、長崎県を起点として高齢化社会におけるくすりの付き合い方について議論していく。後半の授業では、高齢化社会の進展に伴い急増する認知症に焦点を絞り、生命科学の視点からだけでなく、多様な視点から認知症に対する理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	・高齢化社会への対応という現代的課題について自ら探究した上で、課題の解決に向けた提案ができる() ・高齢化社会における医療の変化について調査するだけでなく、その結果に対する自分の考えをまとめることができる()。 ・高齢化社会におけるくすりの使い方などを調査し、それぞれの結果について意見を述べあうことによって理解を深めることができる()。 ・高齢化社会への対応について調査した結果と見解を、他者にわかりやすく、伝えることができる() ・認知症に関して、多方面からの情報を収集することができる()。 ・長崎県の高齢者化社会での問題点を整理し、課題を発表できる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度(10%)、レポート(60%)、調査活動の成果と発表(30%) 積極的授業参加態度は、LACS上のオンラインテストにて評価する。 レポート、調査活動の成果と発表は、全学モジュール科目の到達度評価用ルーブリック案を用いて評価する。 http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前にLACS等で提示する資料に目を通し予習をしておく（2時間）。また、事後には授業で与えられた課題をプレゼンテーション資料やレポートとしてまとめる（2時間）。
キーワード/Keywords	くすり、高齢者、医療、医療経済、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	特になし・必要に応じて資料を配付する
受講要件（履修条件）/Prerequisites	調査等のため授業学習時間は不可欠で、授業時間だけでは、十分な学習を行うことは困難です。LACSや、個人のPCを活用した自主的な時間外学習は、週平均2時間以上は必要です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。また、グループディスカッションとプレゼンテーションは、皆さんの総合力を磨く絶好のチャンスです。どんなことでもいいので、積極的に発言する姿勢で臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史／博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験／創薬や医療技術などの高度化による薬と社会のかかわりの変化を通して医療リテラシーを養う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月13日（木）4校時 向井	第1回：”くすりの過去 出島の科学”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト（対面）
4月13日（木）5校時 向井	第2回：第1回の学習項目を基にした研究テーマ候補4題の決定、資料を用いた予備調査によるさらに深く調査する研究テーマ1題の選定（対面）
4月20日（木）4校時 向井	第3回：第2回で選定した研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成（対面）
4月20日（木）5校時 向井	第4回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）
4月27日（木）4校時 向井	第5回：”高齢化社会における医療経済と長崎県”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、講義資料におけるキーワードを基にした研究テーマの選定（対面）
4月27日（木）5校時 向井	第6回：第5回で選定した研究テーマに関する詳細な調査（対面）
5月11日（木）4校時 向井	第7回：研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成（対面）
5月11日（木）5校時 向井	第8回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）
5月18日（木）4校時 鳥羽、安孫子	第9回：”高齢化社会における認知症の現状”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、課題に対するアンケート（オンデマンド）
5月18日（木）5校時 鳥羽、安孫子	第10回：認知症に関する情報収集(Web)と研究テーマの提案（オンデマンド）
5月25日（木）4校時 鳥羽、安孫子	第11回：関連のある研究テーマに関する予備調査および研究テーマ・研究目的の決定（対面）
5月25日（木）5校時 鳥羽、安孫子	第12回：第11回で選定した研究テーマに関する詳細な調査（対面）
6月1日（木）4校時 鳥羽、安孫子	第13回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、プレゼンファイルと発表原稿の作成開始（対面）
6月1日（木）5校時 鳥羽、安孫子	第14回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成、さらに不足するデータの収集（対面）
6月8日（木）4校時 鳥羽、安孫子	第15回：研究テーマに関する詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587008101	科目番号 / Course code	05870081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11911_005		
授業科目名 / Course title	●a10伝承薬から最先端医薬品まで(薬はこうして創られる) / From Folk Medicines to Advanced Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	石原 ; jishi▲nagasaki-u.ac.jp、福田 ; hfukuda▲nagasaki-u.ac.jp、小嶺 ; keita_komine78▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部3階 薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426 (石原), 819-2427 (福田), 819-2428 (小嶺)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~木 15:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Course goals	人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。 ・伝承薬から最先端医薬品までの種々のくすりに関して、化学的観点から作用機序やその供給方法について説明できるようになる。 ・与えられた課題に対して何が必要かを自分で考えながら取組むことができる。 ・レポート課題やプレゼンテーションなどにおいて、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べることができる。 ・グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。 ・グループワークにおいて目標を達成するために自分の役割を果たすとともにメンバー他者へ配慮した行動をとることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法：積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。 基準：上記の到達目標に対しての達成度を課題演習、発表内容および報告レポートで評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：教科書の該当範囲について事前に読んでおくこと。(2h) 事後学習：授業の進捗状況に応じ、毎回、学修した内容に関する課題を出すので、次回に回答できるように準備すること。(2h)
キーワード/Keywords	医薬品、化学合成、天然物
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指定する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業外の時間に週2時間以上、調査、情報整理、レポート作成などのために充てること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に課題に取り組み、グループ内でのコミュニケーションをとること。調査し予備知識をつけてから授業に臨み、自分の意見を述べるができるようになること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	概論：伝承薬から最先端医薬品について（石原）（対面） テーマ1：概論、テーマの提示とグループ分け
第2回	テーマ1：グループ内での調査（石原）（対面）
第3回	テーマ1：進捗状況の報告と意見交換（石原）（対面）
第4回	テーマ1：グループ内での調査（石原）（対面）
第5回	テーマ1：グループプレゼンテーション、全体討論（石原）（対面）
第6回	テーマ2：概論、テーマの提示とグループ分け（福田）（対面）
第7回	テーマ2：グループ内での調査（福田）（対面）
第8回	テーマ2：進捗状況の報告と意見交換（福田）（対面）
第9回	テーマ2：グループ内での調査（福田）（対面）
第10回	テーマ2：グループプレゼンテーション、全体討論（福田）（対面）
第11回	テーマ3：概論、テーマの提示とグループ分け（小嶺）（対面）
第12回	テーマ3：グループ内での調査（小嶺）（対面）
第13回	テーマ3：進捗状況の報告と意見交換（小嶺）（対面）
第14回	テーマ3：グループ内での調査（小嶺）（対面）
第15回	テーマ3：グループプレゼンテーション、全体討論（小嶺）（対面）
第16回	報告レポートについて、総論（石原）（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587008501	科目番号 / Course code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Course title	● a11薬との賢い付き合い方 / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Hiroataka Miyamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Hiroataka Miyamoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 14:00 ~ 18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義では、薬が効くしくみと薬の体内における動き(体内動態)の基礎を理解し、代表的な疾患に対する薬物治療と薬の影の部分(副作用など)について学ぶことをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	考査(30%)、レポート(30%)、授業に対する積極的な取り組み状況(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前に授業に関するキーワードについて予習する(2時間)。 事後には、いろいろな視点からクスリとの賢い付き合い方について考え、毎回の課題を作成する(2時間)。		
キーワード/Keywords	薬の効果、薬の動き、副作用、生体の機能、病気、生活習慣病薬、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：くすりの作用と効くしくみ事典(永岡書店) 参考書：図解雑学 薬のしくみ(ナツメ社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	長崎大学薬学部HP: http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html この授業は、授業計画のとおり一部オンラインで実施しますので、詳細は授業時やLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	教科書や参考書を熟読すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	宮元 敬天/長崎大学病院での薬剤師実務経験/薬剤師としての臨床経験に基づき病院・薬局での臨床実習を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション(対面)
第2回	からだのしくみ:マクロからミクロへ(オンライン)
第3回	薬が効くしくみ:酵素と受容体、作用薬と拮抗薬(オンライン)
第4回	薬物の消化管からの吸収:消化管の機能、膜透過(対面)
第5回	薬物の消化管以外からの吸収:クスリの投与部位、各種機能性製剤(対面)
第6回	薬物の体内分布:血液循環、血液成分、タンパク結合(対面)
第7回	薬物代謝:肝臓の機能、酵素反応、アルコールの代謝(対面)
第8回	薬物の排泄:腎臓の機能、尿・胆汁の生成、半減期(対面)
第9回	薬の宅配便:製剤学・DDS(Drug Delivery System, 薬物送達システム)入門(対面)
第10回	病と薬(1):感染症と免疫システム(オンライン)
第11回	病と薬(2):生活習慣病(オンライン)
第12回	病と薬(3):癌と疼痛コントロール(オンライン)
第13回	病と薬(4):こころの病(オンライン)
第14回	薬の影:副作用、薬物相互作用、薬害(対面)
第15回	薬との賢い付き合い方:総論・薬物治療の未来像(対面)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587009301	科目番号 / Course code	05870093
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11941_005		
授業科目名 / Course title	● a11疾病と薬物治療 / Diseases and Drug Therapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou, 黒崎 友亮 / Kurosaki Tomoaki, 相原 希美, 西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中嶋 幹郎 / Nakashima Mikirou, 黒崎 友亮 / Kurosaki Tomoaki, 相原 希美		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikirou▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟7階 実践薬学(坂本キャンパス)		
担当教員TEL/Tel	095-819-8570		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 9:00～12:00 ただし事前にメール等で予約を取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	がん、循環器疾患、神経疾患、糖尿病などの様々な疾病の原因や診断について調べ、その病態の概念や治療法(薬物療法を含む)について学ぶ。そして学んだ中から、日常生活習慣と疾病との関連性や健康を確保するための生活習慣の改善法についても考える。 個人及びグループで学習する。学術雑誌の中から興味のある疾患を選び、その疾患の原因・診断・病態・治療等について学習し、グループとしてのプロダクトを作成、全員でディベートする。教員は薬剤師としての立場で、それぞれの疾患に対する薬物治療を生活習慣との関連を交えながら説明する。		
授業到達目標/Course goals	様々な疾病の原因や病態、その治療法について概要を理解できる。() 興味のある課題を自分でみつけることができる。() 必要な情報を適切に収集して分析することができる。(、 、) 自分の意見を積極的に表現することができる。(、) 思考法について理解し実践することができる。(、) ディベートについて理解し実践することができる。(、 、 、 、) 他者との意見交換を建設的に行うことができる。(、 、) 他人の価値観を寛容できる。(、)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度 25点、授業への取組み 25点、プレゼンテーション課題 25点、レポート課題 25点の計100満点中60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加すること。 予習：予め教材を配布し、読んでくるべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで授業にのぞむこと。(2h/回) 復習：教材を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h/回)		
キーワード/Keywords	疾病、薬物治療、生活習慣、ディベート、KJ法、思考法		

教科書・教材・参考書/Materials	【教材】月刊・薬事のバックナンバー（2019年から2022年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	6回以上の欠席は失格とします。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加してください。そして様々な疾患についての知識を身につけ、予防や向き合い方について実践できるようになってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	教員は薬剤師としての立場で、それぞれの疾患に対する薬物治療を生活習慣との関連を交えながら説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（木4）	オリエンテーション（成績評価の説明、アイスブレイキング）と種々の思考法を知る（中嶋）対面
第2回（木5）	教育の手法とKJ法を知り、学んだ結果を発表する（中嶋）対面
第3回（木4）	KJ法の実践結果を発表する（中嶋）対面
第4回（木5）	様々な疾病に対する薬物治療の基礎を知る（中嶋）対面
第5回（木4）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療について個人学習を行う（中嶋）対面
第6回（木5）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループ学習を行う（中嶋）対面
第7回（木4）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループでまとめの準備を行う（中嶋・黒崎）対面
第8回（木5）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループでプロダクトを作成する（中嶋・黒崎）対面
第9回（木4）	中間発表を行い、ディベートを実践する（中嶋・黒崎）対面
第10回（木5）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療について個人学習を行う（中嶋）対面
第11回（木4）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループ学習を行う（中嶋）対面
第12回（木5）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループでまとめの準備を行う（中嶋・相原）対面
第13回（木4）	ある疾病 の原因・診断・病態・治療についてグループでプロダクトを作成する（中嶋・相原）対面
第14回（木5）	最終発表を行い、ディベートを実践する（中嶋・相原）対面
第15回（木4）	課題についてレポートを作成し、授業の総括を行う（中嶋）対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587045701	科目番号 / Course code	05870457
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14131_005		
授業科目名 / Course title	● a12分子設計と合成化学 / Molecular Design and Synthetic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 正成 / Kimura Masanari, 下本 陽一 / Shimomoto Yoichi, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 正成 / Kimura Masanari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 正成 / Kimura Masanari, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	木村(masanari▲nagasaki-u.ac.jp), 有川(arikawa▲nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	木村(工学部1号館3階)、有川(工学部1号館2階)		
担当教員TEL/Tel	木村(819-2677), 有川(819-2673)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメントを取った方が望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医薬品や機能性材料など、我々の生活に不可欠な有用物質の性質や構造を理解すると共に、分子設計と合成化学について学ぶ。 医薬品・創薬の授業では、今後、長崎大学が設置予定であるBSL-4の研究に関わる内容也包括し、感染症治療薬に関する内容を取り扱う。		
授業到達目標/Course goals	合成化学に関する科学的な思考法と方法論の基礎を学ぶ。 医薬品合成や遷移金属錯体化学について学び、日常生活と科学が如何に密接な関係にあるのかが理解できる。 感染症治療薬の開発について調べるとともに、長崎大学の感染症研究やBSL-4研究開発の現状に関して議論する。長崎県や長崎大学の科学分野における強みや今後発展の可能性のある研究事例を考察することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート(60%)と積極な授業参加(40%)を総合して判断 木村担当と有川担当の平均で評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	長崎県や長崎大学で行われている研究について調べ、今後の発展課題を考える(2h)。長崎の地域医療や科学に関連する発展分野を調べたり考察する(2h)。 各班毎に事前学習として調べた内容についてプレゼンテーションを行う(2h)。終了後は、プレゼンテーションを行った感想や、本講義で得られた知識等についてレポートを提出する(2h)。		
キーワード/Keywords	合成化学・創薬・医薬品・金属錯体・機能性材料・長崎大学		

教科書・教材・参考書/Materials	木村担当 参考書 「現代有機化学(上)(下)」(ボルハルトショアー著 化学同人)、 「創薬化学-有機合成からのアプローチ-」(北泰行著,東京化学同人) 有川担当 参考書 「錯体化学」(佐々木陽一,柘植清志著 裳華房) 「配位化学(第2版)-金属錯体の化学-」(F.パソロ,R.C.ジョンソン著 化学同人)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	高校時代に化学を履修している事が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	受講する学生の学部が多岐にわたっているため、理解度も異なってくると思うが、積極的に学習した学生には特に評価を高くする。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	担当 木村 講義内容の説明、進め方について イントロダクション<対面授業>
第2回	課題内容調査 1 テーマ設定及び調査 <対面授業>
第3回	講義 有機化学と医薬品開発 <対面授業>
第4回	課題内容調査 2 発表内容検討及び調査 <対面授業>
第5回	感染症について(新型コロナウイルスの感染メカニズム) <対面授業>
第6回	感染症薬剤開発について(新型コロナウイルスの治療薬開発など) <対面授業>
第7回	長崎大学における感染症研究について <対面授業>
第8回	長崎大学BSL-4研究施設について 木村担当 課題提出 <対面授業>
第9回	担当 有川 イントロダクション <対面授業>
第10回	錯体化学(錯イオン)について解説 <対面授業>
第11回	8族遷移金属について(特に不斉触媒や人工光合成について) <対面授業>
第12回	4族遷移金属について(特にポリマーについて) <対面授業>
第13回	11族遷移金属について(特に分子マシンについて) <対面授業>
第14回	9族遷移金属について(特に有機ELについて) <対面授業>

第15回

6族遷移金属について（特に窒素固定について）
有川担当課題提出
< 対面授業 >

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587045301	科目番号 / Course code	05870453
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14111_005		
授業科目名 / Course title	● a12意思決定の数理 / Mathematical Approach for Decision-Making		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	goma▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6F 教員・ゼミ室606		
担当教員TEL/Tel	095-819-2698		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜5校時 これ以外でも良いが電子メールによるアポイントメントを取ることを勧める。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いくつかの選択肢の中から自分の意志を決定するような状況を、数理科学的手法を用いて解決する際の基本的事項について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	意思決定に関する数理科学的手法を用いて、問題解決を行えるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認課題(20点×3回=60点)+授業への取り組みやプレゼンテーションへの参加(40点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	< 予習 > 講義資料の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習し、出題される演習問題を解き、レポートにまとめること(2h)		
キーワード/Keywords	誤り符号訂正・順序問題・割当問題・ゲーム理論		
教科書・教材・参考書/Materials	講義に必要な資料を準備する。 資料の入手方法は講義の最初に説明する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	この授業は対面で実施します。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students	高校での数学の知識があれば理解できる講義内容です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 第2回	ガイダンス 誤り符号訂正について	F
第3回 第4回	順序問題	F
第5回 第6回	割当問題 誤り符号訂正・順序問題・割当問題に関する演習	A
第7回 第8回	ゲーム理論：ゲーム理論概要 ゼロサムゲーム ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(純粋戦略)	F
第9回 第10回	ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(混合戦略) ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第11回 第12回	ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲーム ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第13回 第14回	各演習の解答のプレゼンテーション	A
第15回	各演習の解答のプレゼンテーション	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587018101	科目番号 / Course code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Course title	● a13環境と社会運動 / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	友澤: tomozawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	友澤教員室: 環439		
担当教員TEL/Tel	友澤: 095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの社会運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標/Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(1)。 政府、企業、専門家、市民の対立や協力の相互作用および市民運動の役割について説明できる(5および7)。 長崎県と関係のある環境問題を整理して問題点と解決策を考えることができる(10)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点50% + レポート50% = 100%のうち、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析を試みる。 < 予習 > 環境問題を取りあげるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード/Keywords	公害問題、社会的対立・協力、多視点からの社会運動、公共性、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	【実施方法について】原則対面形式で行うが、一部リアルタイムオンライン形式で実施する回がある。詳しくは初回に説明する。初回がリアルタイムオンライン形式になる場合は、前日までにLACS連絡事項で通知するので確認しておくこと。
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/14）3限	総論（1）いま環境はどうなっているか（友澤）【対面】
第2回（4/14）4限	総論（2）人間による地球の変形（友澤）【対面】
第3回（4/21）3限	日本の環境運動（1）足尾（友澤）【対面】
第4回（4/21）4限	日本の環境運動（2）水俣（友澤）【対面】
第5回（4/28）3限	日本の環境運動（3）四日市（友澤）【対面】
第6回（4/28）4限	日本の環境運動（4）三島・沼津・清水（友澤）【対面】
第7回（5/12）3限	「する側」と「される側」の論理（友澤）【対面】
第8回（5/12）4限	科学・技術と環境問題（友澤）【対面】
第9回（5/19）3限	当事者・行政・企業・市民社会の役割（友澤）【対面】
第10回（5/19）4限	「快適な社会」をめぐる模索（友澤）【対面】
第11回（5/26）3限	個別事例を学ぶ（1）カネミ油症事件（戸田）【リアルタイムオンライン】
第12回（5/26）4限	個別事例を学ぶ（2）じん肺・アスベスト問題（戸田）【リアルタイムオンライン】
第13回（6/2）3限	個別事例を学ぶ（3）石木ダム問題（戸田）【リアルタイムオンライン】
第14回（6/2）4限	個別事例を学ぶ（4）原発（戸田）【リアルタイムオンライン】
第15回（6/9）3限	「市民」として生きる人びとに学ぶ（友澤）
第16回（6/9）4限	まとめと最終課題

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587043701	科目番号 / Course code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Course title	● a13生態系と社会 / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	服部: mhattori▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) 遠藤: endoa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	服部: 環440 遠藤: 環427		
担当教員TEL/Tel	服部: 095-819-2759 遠藤: 095-819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜対応しますのでメールにてアポイントメントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて事例を交えつつ説明をおこなう。 持続的な社会を維持するための経済的な仕組み、政策評価方法、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明する。 プレゼンテーション・レポートなどを通じて理解度の確認をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例などを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とどのように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員による。 服部担当分(講義ごとの課題 = 40%、期末レポート = 60%) 遠藤担当分(授業への参加度 = 50%、プレゼンテーション = 50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 次回の講義内容について文献・ウェブ等で各自で調べて事前知識を得る(2h) 復習: 資料等により講義内容について復習する(2h)		
キーワード/Keywords	生態系サービス、環境問題、経済政策		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示をおこなう		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、すべて対面方式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合は、Lacsで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	生態系は様々な機能を通じて我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことではありますが、環境に配慮した社会が推進されていますのでぜひ社会に出たときに活用できるように学んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション、生物とは何か（服部・対面）
2	生態系を形作る生物の役割（1）生物間相互作用（服部・対面）
3	生態系を形作る生物の役割（2）生物の進化メカニズム（服部・対面）
4	生態系を形作る生物の役割（3）生物間相互作用が生態系をつなぐ（服部・対面）
5	生態系を形作る生物の役割（3）生物多様性創出メカニズム（服部・対面）
6	生態系サービス：人間社会での生物利用（服部・対面）
7	生物が引き起こす環境問題：外来種問題、獣害問題（服部・対面）
8	生物多様性保全策（服部・対面）
9	生態系・生物多様性問題と国内外の法制度（遠藤・対面）
10	生態系・生物多様性問題と国内外の法制度（遠藤・対面）
11	サプライチェーンにおける自然資本の持続可能な利用（森林資源）（遠藤・対面）
12	サプライチェーンにおける自然資本の持続可能な利用（農産物）（遠藤・対面）
13	サプライチェーンにおける自然資本の持続可能な利用（農産物）（遠藤・対面）
14	サプライチェーンにおける自然資本の持続可能な利用（水）（遠藤・対面）
15	サプライチェーンにおける自然資本の持続可能な利用（海洋資源）（遠藤・対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587047301	科目番号 / Course code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Course title	● a14資源管理論 / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 畑 奨 / Hata Syo, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 畑 奨 / Hata Syo, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki▲nagasaki-u.ac.jp (濱崎) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) y-shigetomi▲nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環449 (濱崎) 環452 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 内線 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜16:00~17:00 (濱崎) 事前にアポイントをとってもらえれば、適宜調整します (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源、希少金属資源(レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源がもつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、事例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Course goals	さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	濱崎・重富ともに、レスポンスシート(20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度(20%)、グループ発表(60%)を総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 前回授業資料を読んで内容のおさらいをしてくる(1h) 復習: 授業内容を反芻しつつ、グループワークでの充実した議論ができるよう文献・情報の収集を行う(3h)		
キーワード/Keywords	グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は対面での授業を基本とします
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション（授業のねらい，達成目標，成績評価，グループイングなど）対面
第2回	資源管理とは：経済発展（資源利用）と環境保全（資源保護）のせめぎあい グループワーク 対面
第3回	水資源の管理を事例とした資源の利用と保全：政治的観点から 対面
第4回	プラスチックの循環利用 グループワーク 対面
第5回	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム 対面
第6回	貿易ゲームの振り返り，グループワーク 対面
第7回	循環型社会 オンライン
第8回	グループワーク オンライン
第9回	エネルギー問題 オンライン
第10回	グループワーク オンライン
第11回	希少金属資源 オンライン
第12回	グループワーク 最終グループ発表準備 オンライン
第13回	グループ発表 対面
第14回	グループ発表 対面
第15回	グループ発表の講評 授業総括—資源を持続可能な方法で利用するためには 対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230587018901	科目番号 / Course code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Course title	● a14地域の環境を考える / Community and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見: fukami ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 黒田: skuroda ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	深見: 環境科学部4階・環438教員室 黒田: 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見: 095-819-2720 黒田: 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見: 金曜日2時間目 黒田: 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2. 「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3. 持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】 各回講義のキーワードをあらかじめ提示するので、キーワードに関する事柄を新聞記事や文献、ウェブ等を通じて前もって調べておくこと(2h)。 【復習】 毎回の配布資料を熟読し、取り上げられた具体事例について、自分でもその後を調べる等のフォローアップをおこなうこと(2h)。		
キーワード/Keywords	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD (持続可能な開発のための教育)、観光教育、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：使用しない。 教材：適宜プリント等を配布する。 参考書：深見聡『観光と地域-エコツーリズム・世界遺産観光の現場から』（南方新社、2019年） 渡邊貴史・黒田暁編『地域のレジリエンスを高める環境科学』（九州大学出版会、2023年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則としてリアルタイムオンライン方式（前半）と対面方式（後半）でおこないます。状況によっては変更する回があるかもしれませんが、その場合は遅くとも前日までにLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎県内や九州各地を含むローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深見 聡/NPO法人での実務経験/NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会を設立し、代表として観光やまちづくり、環境教育の実務経験を有する教員が、理論と実際の両面から、エコツーリズムの現状等について解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化（オンライン）
第2回	II. 地域の環境と「環境教育」（オンライン） 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ-
第3回	環境教育のすすめ（1）「科学リテラシー」「メディアリテラシー」に基づいた価値判断学習（オンライン）
第4回	環境教育のすすめ（2）持続可能な開発のための教育（ESD）とは（オンライン）
第5回	環境教育の小フィールドワーク（1）文教キャンパス探検(前半)（対面）
第6回	環境教育の小フィールドワーク（1）文教キャンパス探検(後半)（対面）
第7回	環境教育と観光教育（1）世界遺産は環境保全に役立っているのか？（オンライン）
第8回	環境教育と観光教育（2）世界遺産の現場から-屋久島、長崎の事例比較-（オンライン）
第9回	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場（1）震災による地域の「被害」とは（対面）
第10回	災害と地域復興の現場（2）災害社会を考える（対面）
第11回	環境と地域のコミュニティ（1）「地域」というまとまり（対面）
第12回	環境と地域のコミュニティ（2）自治はつらいよ？（対面）
第13回	環境ガバナンスのしくみ（1）環境自治の実態と課題（対面）
第14回	環境ガバナンスのしくみ（2）地域の持続性のゆくえ（対面）
第15回	環境と地域の関係のあり方とは（対面）
第16回	まとめ（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593001801	科目番号 / Course code	05930018
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a15研究ベース学習 : アカデミックスキルズとフィールド情報学の技法 / Research Based Learning : Academic Skills and Field Informatics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel	tatsuji ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学は新たな知識を創造する場である。大学において、知識創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベース学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知識創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。本テーマでは、科学的方法をプロジェクトベースで体験することを通して、研究文化の学習観や技法を体得し、主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」(スキルセット、マインドセット、ソーシャルキャピタル)を習得する。 研究ベース学習 として本科目では、学術研究において必要不可欠な技能であるアカデミックスキルを獲得する。具体的には、「学術文献の読み方・書き方」「アイデアの整理と拡張法」「図表の見方・作り方」「引用の方法」「ポスターの作り方」などのアカデミックスキルを実践的に習得する。さらに、フィールドの調査・設計の方法としてフィールド情報学の技法を獲得する。具体的には「エスノグラフィ」「ケースライティング」「ワークショップデザイン」「アウトリーチコミュニケーション」などの方法論を習得する。		
授業到達目標/Course goals	・学分野・領域を超えて活用できるアカデミックスキルを獲得する。 ・他者との協働により自身のアカデミックスキルを高めることができる。 ・フィールド情報学の技法を説明することができる。 ・大学で学術研究を遂行するための学習観を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・各課題の達成度(30%) ・授業への取り組みと状況(40%) ・最終課題(30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う（2h）。 事後学習：授業での学びをもとに課題に取り組む（2h）。
キーワード/Keywords	研究ベース学習 アカデミックスキル フィールド情報学 学術研究 学びのOS
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに実施されています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出、実践し、皆さんが主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」を習得します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	研究ベース学習とは
第2回	アカデミックスキルの習得：「学術論文とは何か」
第3回	アカデミックスキルの習得：「学術論文の書き方・読み方」
第4回	アカデミックスキルの習得：「引用の方法」「伝わる文章の書き方」
第5回	アカデミックスキルの習得：「アイデアの整理と拡張法」
第6回	アカデミックスキルの習得：「図表の見方・作り方」「メールの書き方」
第7回	アカデミックスキルの習得：「レジュメの作り方」「図書館の使い方」
第8回	アカデミックスキルの習得：「プレゼンの方法」「ポスターの作成法」
第9回	アカデミックスキルの習得：「社会調査の基礎」
第10回	フィールド情報学の技法：「エスノグラフィ」
第11回	フィールド情報学の技法：「エスノグラフィ」
第12回	フィールド情報学の技法：「ケースライティング」
第13回	フィールド情報学の技法：「ヒューマンセンシング」
第14回	フィールド情報学の技法：「ワークショップデザイン」「インクルーシブデザイン」
第15回	フィールド情報学の技法：「アウトリーチコミュニケーション」
第16回	本授業のまとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230593001901	科目番号 / Course code	05930019
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●a15研究ベース学習 : 科学的方法の体験 / Research Based Learning : Experience of Scientific Method		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学は新たな知識を創造する場である。大学において、知識創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベースド学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知識創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。本テーマでは、科学的方法をプロジェクトベースで体験することを通して、研究文化の学習観や技法を体得し、主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」(スキルセット、マインドセット、ソーシャルキャピタル)を習得する。 研究ベース学習 として本科目では、論文の生産プロセスと論文の修正及び成果の発表を体験する。まず、研究ベース学習 で獲得したアカデミックスキルやフィールド情報学の技法を活用し、「問いの設定、対象の選定、データ収集・分析、成果のまとめ」という論文の生産プロセスを遂行する。さらに、学生同士でのピアレビューでの論文の査読・修正、さらに研究成果のポスター発表も経験し、科学的方法のプロセス体得する。		
授業到達目標/Course goals	・科学的方法のプロセスを理解する。 ・科学的な技法や作法に則った学術論文やポスターを生産することができる。 ・他者からの査読のフィードバックを論文修正に反映させることができる。 ・他者からの発表に対するフィードバックをポスターの修正に反映させることができる。 ・大学で主体的に学術研究に取り組み、自らを変革していけるアクティブラーナーになるための学習観を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・各課題の達成度(30%) ・授業への取り組みと成果(40%) ・最終課題(30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する課題に基づき、ワークを行う（2h）。 事後学習：授業内容に基づいた課題に取り組む（2h）。
キーワード/Keywords	研究ベース学習 プロジェクト型学習 科学的方法 省察 アクティブラーナー
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに実施されています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出、実践し、皆さんが主体的に学術研究に取り組むアクティブラーナーになるための「学びのOS」を習得します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	フィールド実践の設計とデータの収集・分析（Basic）
第2回	フィールド実践の設計とデータの収集・分析（Basic）
第3回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Basic）
第4回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Basic）
第5回	研究成果のポスター発表（Basic）
第6回	研究成果のポスター発表（Basic）
第7回	科学的方法（Basic）の省察：スキルや技法の検証
第8回	科学的方法（Basic）の省察：科学的方法の検証
第9回	フィールド実践の設計とデータ収集・分析（Advanced）
第10回	フィールド実践の設計とデータ収集・分析（Advanced）
第11回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Advanced）
第12回	ピアレビューによる論文の査読と修正（Advanced）
第13回	研究成果のポスター発表（Advanced）
第14回	研究成果のポスター発表（Advanced）
第15回	科学的方法（Advanced）の省察：スキルや技法の検証
第16回	科学的方法（Advanced）の省察：科学的方法の検証